

ひまわりぐみだより



2021年 4月
尚徳福祉会 馬橋保育園

春の日差しを浴びて花や虫たちが顔を出す季節になりました。いよいよ新年度がスタートし、子どもたちも緑色の帽子が似合っています。馬橋保育園の中でも、一番大きなお兄さんお姉さんになるという自覚が芽生え始めているようで、身の回りのことを進んでやろうとしたり、色々な事に挑戦しようとしたりする姿が見られます。その反面、環境の変化にソワソワしたり、不安や苛立ちを感じたりする姿も見られるため、心のケアも含めて子どもたちの育ちを見守っていきたいと思っています。

今月のねらい

- 生活や活動に見通しを持ち、身の回りのことを自分でやろうとする。
- 新しい生活のルールや約束を知り守ろうとする。

今月の行事

- 1日(木)入園・進級を祝う会 14日(水)身体測定
- 21日(水)春の健診 8・22日(木)英語であそぼう
- 28日(水)おはなし会 30日(金)子どもの日集会
避難訓練

4月うまれのおともだち



お願い・お知らせ

- 持ち物には必ず記名をしてください。
- 引き出しには、予備の着替えを2組入れておいていただくようお願いします。



ゆり組忍者から、ひまわり忍者へ！！



3月から本格的に始まった大縄の修行。今までも遊びの中で大縄を跳んでいましたが、進級を目前に意欲を高めていくため、個人の縄跳びカードを作って修行の一環として始めました。今まで跳んでいたものに技名が付き、合格シールがもらえるということで俄然張り切っていました。苦手意識があったり、興味がなかったりした子も、友だちの姿を見て取り組もうとしています。“出来ないからやらない”ではなく“やってみようとする”事を目標に自分でやろうとする力を信じて見守りました。試験では、自分で挑戦する技を決めて2つ合格を目指しました。そして見事全員合格し、新しい忍者のアイテム“なわとび”を手に入れました。大縄跳びは、両足をそろえて跳ぶことや、縄を見てタイミングよく跳び越えるという体と脳の使い方が重要になります。それを経験したことで今度は自分で縄を回して跳ぶという段階へとステップアップしていきます。さらに修行を重ね一人前の忍者になれるよう、これからも修行を続けていきたいと思えます。

なお、縄跳びは風呂敷と同様に園の玩具と同じ扱いになります。自分の物を管理する力をつけるため巾着を用意して子どもたちの引き出しに入れてありますので、持ち帰らないようお願いいたします。



担任自己紹介

前年度に引き続き担任となりました。このクラスの子どもたちとは本当に長いお付き合いをさせていただくこととなり嬉しい気持ちでいっぱいです。5歳児クラスということで、行事や園生活でも年長が中心となって進めていく活動も多く、就学に向けて身に付けていくべき力もたくさんありますが、子どもたちの力を信じてひとつずつ乗り越えていきたいと思えます。見飽きた顔かと思えますが、一年間全力で頑張りますのでよろしくお願いいたします。